

# 旭物産、子ども手当倍増

## カット野菜で新工場 人員確保に対応

カット野菜をつくる旭物産(水戸市)は、従業員の子ども手当(子ども1人あたり月額)を1万円増やして2万円とした。2017年2月に現在の2倍の生産能力がある新工場が稼働するのを見込み、人手不足に対応する。あわせてパート従業員

の正社員登用や高齢者雇用にも取り組む。旭物産はこれまで子ども手当を設けていた支給額は18歳未満の子

も1人につき1万円で、上限は3人までとしたが、10月から1人2万円に増額。上限も5人までに広げた。5人の子どもを育てる従業員には月10万円を支給する。

水戸市内に建設する本社併設の新工場の敷地面積は約4万平方メートルと現工場の2・4倍で、1日50万パックのカット野菜を製造できる。新工場は機械化を進めるが、新商品開発などにも注力するた

め人手が必要になる。

人員確保策として、例年数人程度だったパートから正社員への登用でも16年9月期は10人のパートを登用した。60歳の定年後の継続雇用にも取り組み、現在は70歳以上の従業員6人を雇用している。林正二社長は「子どもを育てやすい環境や高齢者の働く場を提供することは社会貢献にもつながる」と話す。